

「仲町台えんにち」に参加～自衛隊をより身近に！



自衛隊神奈川地方協力本部市ヶ尾募集案内所（所長 市川直人2等空尉）は、6月7日（土）、横浜市都筑区仲町台せせらぎ公園で開催された「仲町台えんにち」に広報ブースを出展した。

当日は、「南極の氷」や「南極の石」を展示するとともに、ペーパークラフトなどの広報グッズの配布も行った。「南極の氷」に触れた来場者は、氷が溶ける際に発生する2万年前の空気が弾ける音に、「プチプチ音が聞こえる」と興味深く耳を傾け、「南極観測に自衛隊が協力していることを初めて知った」と驚く声も聞かれるなど、大きな関心を集めた。

さらに、会場では自衛隊に興味を持つ学生や保護者が多数来場し、広報官がそれぞれに丁寧に説明を行った。「自衛官から直接話を聞いたことで、自衛隊をより身近に感じることができた」との声も寄せられ、地域のにぎわいの中で、自衛隊への理解を深めてもらう貴重な機会となった。

市ヶ尾募集案内所は「今後も地域とのつながりを大切にし、自衛隊の魅力発信と志願者の獲得にまい進していく」としている。

高校生からの職業インタビュー～自衛隊に聞く仕事のリアル

自衛隊神奈川地方協力本部市ヶ尾募集案内所（所長 市川直人2等空尉）は、6月12日（木）、神奈川県立田奈高等学校において行われた「職業インタビュー」に参加した。

この行事は、同校1年生が「総合的な探求の時間」の一環として実施しているキャリア学習で、生徒が関心のある職業人に直接インタビューを行い、働くことの意義や、やりがい、仕事内容への理解を深めることを目的とし、当日は、自衛隊を含む複数の職業が紹介された。

自衛官との対話を希望した生徒たちは、「なぜ自衛隊に入隊したのですか？」「休みはどれくらいあるのですか？」「仕事のやりがいとは？」「自衛隊を仕事にしてよかったことは？」など積極的に質問。広報官は、一つひとつ丁寧に答え、自衛隊の任務や生活、やりがいについて分かりやすく説明した。

インタビューでは、制服姿の広報官に「かっこいい！」と声が上がる場面もあり、終始和やかで活気のある雰囲気包まれた。中には自衛隊の仕事により関心を持つようになった生徒の姿も見られた。

市ヶ尾募集案内所は「今後も地域や学校との連携を図り、自衛隊という職業への理解を深めていただける機会を提供していきたい」としている。

